

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

16:10

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第23476報)

2022年4月20日15時55分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第23473報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクHに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水開始 : 10時17分 ・排水終了 : 12時43分 ・排水量 : 361m³ <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有無 (無し)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

16:10

1/10

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23477報)

2022年 4月20日 15時55分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [4月20日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 4月19日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 4月19日] ・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 4月15日、4月19日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日 4月19日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクJの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、4月21日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 4月16日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有り：無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/10

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2022年4月20日 11:00現在

【重要事項】
各計測値については、当該計測器の検定有効期限を明記して、計測の信頼性を保証している。計測値に異常がある場合は、計測器の点検や校正を行う必要がある。このように異常がある場合は、計測器の点検や校正を行う必要がある。計測器の点検や校正の有無は、計測器の検定記録を確認する。計測器の検定記録は、計測器の検定記録簿に記載されている。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉圧水状況	給水系: 3.3 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (4/20 11:00 現在)	給水系: 1.8 m ³ /h CS系: 0.0 m ³ /h (4/20 11:00 現在)	給水系: 1.7 m ³ /h CS系: 0.0 m ³ /h (4/20 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 炉内温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-68L1): 15.4 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-68H1): 14.7 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-68G2): 14.8 °C (4/20 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-68H3): 23.1 °C RPV温度 (TE-2-3-68F): 27.6 °C (4/20 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 21.5 °C RPV上部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 19.3 °C (4/20 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HMH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 14.7 °C HMH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 14.8 °C (4/20 11:00 現在)	FETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 23.5 °C SUPPLY AIR/W COOLER HVH2-168 (TE-16-114G#1): 23.6 °C (4/20 11:00 現在)	格納容器空筒機戻り空気温度 (TE-16-114A): 20.7 °C 格納容器空筒機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 19.1 °C (4/20 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.19 kPa g (4/20 11:00 現在)	3.23 kPa g (4/20 11:00 現在)	0.45 kPa g (4/20 11:00 現在)	
空筒封入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm ³ /h (RVH-B): 15.42 Nm ³ /h (JP-A): 14.06 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h (4/20 11:00 現在)	FPV-A: 6.53 Nm ³ /h FPV-B: 6.56 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (4/20 11:00 現在)	RPV-A: 8.38 Nm ³ /h RPV-B: 8.65 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (4/20 11:00 現在)	
原子炉格納容器 ガス管理システム 格納流量	20.8 m ³ /h (4/20 11:00 現在)	18.18 Nm ³ /h (4/20 11:00 現在)	18.05 Nm ³ /h (4/20 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: - vol% B系: 0.00 vol% (4/20 11:00 現在)	A系: 0.07 vol% B系: 0.07 vol% (4/20 11:00 現在)	A系: 0.12 vol% B系: 0.11 vol% (4/20 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 Xe135 ※2	A系: 指示値 8.08E-04 Ba/cm ³ 検出限界値 3.69E-04 B系: 指示値 8.81E-04 Ba/cm ³ 検出限界値 3.79E-04 (4/20 11:00 現在)	A系: 指示値 ND Ba/cm ³ 検出限界値 1.3E-01 B系: 指示値 ND Ba/cm ³ 検出限界値 1.3E-01 (4/20 11:00 現在)	A系: 指示値 ND Ba/cm ³ 検出限界値 ND Ba/cm ³ 検出限界値 1.9E-01 (4/20 11:00 現在)	
使用済燃料プール 水温度	19.9 °C (4/20 11:00 現在)	18.9 °C (4/20 11:00 現在)	℃ ※5 (4/20 11:00 現在)	℃ ※5 (4/20 11:00 現在)
FPC 貯留タンク 水位	4.35 m (4/20 11:00 現在)	3.07 m (4/20 11:00 現在)	m ※6 (4/20 11:00 現在)	67.1 X100mm (4/20 11:00 現在)

※1: 原子炉格納容器内の水素濃度を測定するための計測器。水素濃度の測定値は、計測器の検定記録簿に記載されている。
 ※2: 原子炉格納容器内の放射能濃度を測定するための計測器。放射能濃度の測定値は、計測器の検定記録簿に記載されている。
 ※3: 原子炉格納容器内の空筒封入流量を測定するための計測器。空筒封入流量の測定値は、計測器の検定記録簿に記載されている。
 ※4: 原子炉格納容器内の空筒封入流量を測定するための計測器。空筒封入流量の測定値は、計測器の検定記録簿に記載されている。
 ※5: 使用済燃料プールの水温度を測定するための計測器。水温度の測定値は、計測器の検定記録簿に記載されている。
 ※6: 使用済燃料プールの水位を測定するための計測器。水位の測定値は、計測器の検定記録簿に記載されている。

3/10

2022年4月20日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一原子力発電所

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2022/04/19 08:15	< 4.9E+00	< 4.5E+00	< 4.8E+00
プロセス主建屋北東	2022/04/19 08:50	< 4.7E+00	< 4.8E+00	< 4.3E+00
プロセス主建屋南東	2022/04/19 08:44	< 5.2E+00	< 4.1E+00	< 4.3E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2022/04/19 08:55	< 4.3E+00	< 4.6E+00	< 4.3E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2022/04/19 09:05	< 5.0E+00	< 4.0E+00	4.0E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2022/04/19 09:00	< 4.6E+00	< 3.0E+00	< 3.9E+00
サイトバンカ建屋南東	2022/04/19 08:21	< 6.4E+00	< 4.3E+00	< 4.3E+00

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
 ・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
 ・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読み。
 ・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

4/10

2022年4月20日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進センター

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/04/19 07:30	7.6E+00	< 5.3E-01	3.2E+00
物揚場排水路	2022/04/19 07:35	< 3.6E+00	< 7.0E-01	1.3E+00
K排水路	2022/04/19 06:00	4.0E+01	1.2E+00	3.7E+01
BC排水路	2022/04/19 06:00	< 3.6E+00	< 7.7E-01	< 7.1E-01
5,6号構排水路※1	—	—	—	—

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・0.0E±0とは、 0.0×10^0 であることを意味する。
- ・(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。
- ・採取当日の降雨量は0 mm
- ・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。
- ※1 5,6号構排水路は1回/月に分析を実施。

2022年4月20日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目						塩素 (ppm)	
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)		Cs-137 (Bq/L)
No.0-1		-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2		-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2		-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1		-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2		-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-4		-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	2022/04/19 08:03	2.5E+04	< 2.7E-01	< 3.8E-01	< 3.1E+00	< 1.1E+00	< 3.3E-01	2.3E+00	-
No.1-6	2022/04/19 07:35	8.9E+05	< 5.3E+01	< 3.5E+01	< 1.9E+03	< 1.0E+03	7.3E+00	2.3E+05	-
No.1-8	2022/04/19 08:38	1.1E+04	< 1.9E+00	< 2.2E+00	< 2.7E+01	< 1.3E+01	8.4E+00	1.9E+02	-
No.1-9		-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-11	2022/04/19 09:00	7.7E+01	< 2.2E-01	< 2.8E-01	< 2.5E+00	< 1.0E+00	< 3.0E-01	9.3E+00	-
No.1-12	2022/04/19 07:40	1.6E+03	< 3.4E+00	< 1.4E+00	< 2.4E+01	< 1.4E+01	1.9E+01	6.9E+02	-
No.1-14	2022/04/19 07:45	4.5E+04	< 4.8E-01	< 3.5E-01	< 5.2E+00	< 2.0E+00	< 5.6E-01	1.3E+00	-
No.1-16	2022/04/19 09:32	1.7E+04	< 3.4E-01	< 3.5E-01	< 5.3E+00	< 2.4E+00	4.7E+00	1.2E+02	-
No.1-17	2022/04/19 08:11	9.8E+04	< 3.5E-01	< 2.6E-01	< 3.9E+00	< 1.2E+00	< 4.0E-01	3.4E+00	-

・経路別の半減期：Mn-54(約3110日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sr-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<) : 小値D) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.O.E±Oとは、O.O×10^{±n}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と表わす。

※1 No.1-9は、取水部による採取であるため、V測定は実施せず。全βは参考値として各選抜に測定。

6/10

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

観測地点	採取日時	分析項目										検出
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他放射性核種			
1.2号観測ポイント 汲み上げ水	2022/04/19 08:55	1.7E+05	< 7.0E-01	< 5.0E-01	< 8.5E+00	< 3.2E+00	< 1.5E+00	4.7E+00				-
No.2	-	-	-	-	-	-	-	-				-
No.2-2	-	-	-	-	-	-	-	-				-
No.2-3	-	-	-	-	-	-	-	-				-
No.2-5	-	-	-	-	-	-	-	-				-
No.2-6	-	-	-	-	-	-	-	-				-
No.2-7	-	-	-	-	-	-	-	-				-
No.2-8	-	-	-	-	-	-	-	-				-
2.3号観測ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-				-
No.3	-	-	-	-	-	-	-	-				-
No.3-2	-	-	-	-	-	-	-	-				-
No.3-3	-	-	-	-	-	-	-	-				-
No.3-4	-	-	-	-	-	-	-	-				-
No.3-5	-	-	-	-	-	-	-	-				-
3.4号観測ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-				-

・検査時の検出限値：Mn-54(初5年)、Co-60(初5年)、Ru-106(初370日)、Sb-125(初370日)、Cs-134(初2年)、Cs-137(初4年)
 ・不検出 (< 4σ) は、検査限界未満 (ND) を表す。
 ・測定対象外および採取中の項目は「-」と表示。
 ・O.0E±0とは、0.0x10⁰であることを意味する。
 ・(例) 3.1E+03は3.1x10³で3.1、3.1E+00は3.1x10⁰で3.1、3.1E-01は3.1x10⁻¹で0.31と読み取ります。
 ※2 No.2-5、No.3-5は、採取時による採取であるため、初期値は記載せず、全量は参考値として追後に測定。

7/10

2022年4月20日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	その他の放射性核種					Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	塩素 (ppm)
				Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)				
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-1-7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1	2022/04/15 07:35	2.5E+04	3.0E+04	< 2.5E-01	< 2.6E-03	< 2.9E+00	< 1.1E+00	3.6E-01	1.5E+01	-	
No.1-6	2022/04/15 07:30	9.0E+05	3.0E+03	< 3.9E+01	5.6E+01	< 2.2E+03	< 1.2E+03	7.4E+03	2.5E+03	-	
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-9	2022/04/15 08:05	< 1.3E+01	6.1E+02	-	-	-	-	-	-	7.2E+01	
No.1-11	2022/04/15 08:15	3.8E+01	9.2E+02	< 2.7E-01	< 3.3E-01	< 3.0E+00	< 9.6E-03	< 2.6E-01	2.1E+00	-	
No.1-12	2022/04/15 07:35	1.2E+03	2.2E+04	< 1.4E+00	< 1.4E+00	< 2.0E+01	< 1.0E+01	9.5E+03	3.5E+02	-	
No.1-14	2022/04/15 07:30	4.2E+01	7.6E+02	< 4.0E-01	< 4.1E-03	< 4.8E+00	< 1.9E+00	< 5.2E-01	7.2E-01	-	
No.1-16	2022/04/15 07:15	1.8E+01	3.9E+02	< 3.3E-01	< 3.4E-03	< 5.6E+00	< 2.8E+00	5.2E+00	1.7E+02	-	
No.1-17	2022/04/15 08:00	1.1E+05	7.0E+03	< 4.4E-01	< 4.0E-03	< 5.8E+00	< 2.1E+00	< 6.0E-01	1.9E+00	-	

・検査所の半減期：H-3(12年)、Mn-54(49日)、Co-60(5.27年)、Ru-106(370日)、Sr-125(649日)、Cs-134(2年)、Cs-137(30年)

・不符号 (<) は、検出限界未満 (ND) を意味する。

・現在対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.O.E.D.とは、 0.0×10^{-4} であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は、 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は、 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は、 3.1×10^{-1} で0.31と表す。

・H-3以外放射能は省略する。

※1 No.1-9は、採水時による誤差であるため、測定結果を省略する。全量は検査結果として記録は確定。

8/10

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	分析項目					塩素 (ppm)	
				Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)		Cs-137 (Bq/L)
1,2号機Dエルメント 覆ひ上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2		-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-3		-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-5		-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6	2022/04/15 08:30	5.8E+02	4.7E+02	< 3.2E-01	< 4.4E-01	< 3.6E+08	< 1.4E+00	< 3.3E-03	2.8E+00	-
No.2-7	2022/04/15 08:25	4.1E+02	9.2E+02	< 2.7E-01	< 2.8E-01	< 2.8E+09	< 8.6E-01	< 2.7E-03	8.5E-01	5.0E+02
No.2-8		-	-	-	-	-	-	-	-	-
2,3号機Dエルメント 覆ひ上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3		-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-3		-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-4		-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-5		-	-	-	-	-	-	-	-	-
3,4号機Dエルメント 覆ひ上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-

・検査機の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sr-125(約2年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不検出 (< : 小字) は、検出限界未満 (ND) を意味する。

・測定対象外および検出中止の項目は「-」と記す。

・O.D.E±0とは、 0.0×10^0 であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は、 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は、 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は、 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・H-3以外の測定値は5位未満。

※2 No.2-5、No.3-5は、覆水層による採取であるため、Y測定は実施せず、全βは参考値として5位未満に測定。

9/10

2022年4月20日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/04/19 08:25	—	< 7.1E-01	< 5.9E-01
1F 6号機取水口前	2022/04/19 08:15	< 1.3E+01	< 2.6E-01	4.1E-01
1F 物揚場前	2022/04/19 07:24	< 1.3E+01	< 2.7E-01	< 3.2E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/04/19 07:15	1.8E+01	< 2.8E-01	2.3E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2022/04/19 07:10	< 1.3E+01	< 4.2E-01	3.8E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/04/19 06:40	1.0E+01	< 8.3E-01	9.2E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/04/19 06:38	< 1.4E+01	< 2.5E-01	< 3.1E-01
1F 港湾中央	2022/04/19 06:34	< 1.4E+01	< 2.7E-01	4.6E-01
1F 港湾内東側	2022/04/19 06:36	< 1.3E+01	< 2.7E-01	5.9E-01
1F 港湾内西側	2022/04/19 06:32	< 1.3E+01	< 2.7E-01	3.7E-01
1F 港湾内北側	2022/04/19 06:30	< 1.3E+01	< 3.6E-01	4.9E-01
1F 港湾内南側	2022/04/19 06:40	< 1.3E+01	< 2.9E-01	< 2.9E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
告示濃度限度 ^{※1}			6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+01	1.0E+01

- ・核種毎の半減期: Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<: 小なり) は, 検出限界値未満 (ND) を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
- ・0.0E±0とは, 0.0×10^{±0}であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
- ・物揚場前は, シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では, Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※試料採取作業の安全確保ができないため, 採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

10/10

2022年4月20日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一原子力発電所

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m³)	分析機関	分析項目					その他 核種
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)		
一時貯水タンク (サンプルタンク)	2022/04/16 08:21	550	東京電力	< 1.7E+00	9.1E+02	< 6.7E-01	< 6.0E-01	検出なし	
			東北電力環境保全 (株)	< 4.0E-01	9.7E+02	< 6.4E-01	< 7.2E-01	検出なし	
運用目標				3.0E+00 (1.0E+00) *1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと*1	
告示濃度限度*3				/	6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	/	
WHO飲料水導管ガイドライン				/	1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	/	

* 核種の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

* 不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

* 0.0E±0 とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

*1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/Lに下げて分析を実施。

*2 Cs-134, Cs-137の検出限界値 [1Bq/L未満] を確認する測定にて検出されないこと (天然核種を除く)。

*3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

16:10

東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一原子力発電所

様式 9-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第 2 3 4 7 8 報)

2022年 4月 20日 15時 55分
 内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第 2 5 条 報 告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 大野 公輔
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第 2 5 条 第 2 項 の 規 定 に 基 づ き , 応 急 措 置 の 概 要 を 以 下 の 通 り 報 告 し ま す 。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原 2 2
特定事象の発生箇所 (注 1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注 1)	2 0 1 1 年 (平 成 2 3 年) 3 月 1 1 日 1 6 時 3 6 分 (2 4 時 間 表 示)
特定事象の種類 (注 1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第 6 条 第 4 項 第 4 号 , 省令第 2 1 条 第 1 項 口) (対応日時, 対応の概要)
発生事象と対応の概要 (注 2)	<p>第 8 1 3 7 報 他 で お 知 ら せ し た , 1 号 機 放 水 路 上 流 側 立 坑 に お い て C s - 1 3 7 の 濃 度 が 上 昇 し た 事 象 , 及 び 第 1 0 1 8 2 報 他 で お 知 ら せ し た , 2 号 機 放 水 路 上 流 側 立 坑 に お い て 全 ベータ放射能及びトリチウム濃度が上昇した事象について、1号機及び2号機放水路上立坑水の分析を実施しましたので、以下のとおり報告します。</p> <p>・ 1号機、2号機放水路 分析結果 [採取日 4月18日]</p> <p>今回の分析結果については、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。今後も監視を継続していきます。</p> <p>【公表区分：その他】</p>
その他の事項の対応 (注 3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
 (注 1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。
 (注 2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 並大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。
 (注 3) 緊急時対策本部の設備状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

2022年4月20日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

1号機, 2号機放水路 分析結果

採取地点	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機放水路立坑水	上流側	2.9E+03	< 9.4E+01	6.5E+01	2.4E+03
	下流側	2.3E+03	3.4E+02	2.0E+01	7.1E+02
2号機放水路立坑水	上流側	1.1E+03	< 9.4E+01	2.2E+01	7.8E+02
	下流側	6.1E+01	< 9.4E+01	< 6.0E+00	2.2E+01

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は, 検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは, $0.0 \times 10^{±0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。